

2009年5月21日
京都FD開発推進センター

日本教育工学会（徳島大学）参加報告

日時：平成21年5月16日

場所：徳島大学

参加者：川面（京都FD開発推進センター）

日本教育工学会 研究会「ICTを活用したFD/一般」参加

A1) 高等教育初任者教員の不安・孤独感を緩和する対話システムの開発

東京大学 大学総合教育研究センター：重田勝介、

東京大学大学院 学際情報学府 館野泰一、福山佑樹、

早稲田大学大学院 国際情報通信研究科：大川内隆朗

A2) 「授業支援のPDCAサイクル」を基盤としたFDシステムの構築

岩手大学 大学教育総合センター：江本理恵、後藤尚人

授業改善を促進するためにICTを利用した教育支援システム「T Assistant」を全学的に導入し、活用することで授業実施のPDCAサイクルは実現したが、「改善策の検討」を行うための支援策が欠けている点に注目し、教員が授業改善策を学び、研究するためのシステム開発の取組を実施している。とくに教員が自身の教育活動について公開、共有し、ほかの教員と意見交換しながら教育活動の研究が行える「教育実践と振り返りのコミュニティ」の形成を目的としている点がユニークであり、我々のプロジェクトで開発しようとしているSMSにも援用できる点が多々あると感じた。

A3)FD Commonsによる教育改善の展開

東京農工大学教育センター：加藤由香里、梅田倫弘

東京農工大学工学部：實理翔太郎、中川正樹

東京農工大学総合情報センター：江木敬訓

授業風景を収録および再生を行いながら手書きで授業観察を行うシステム（FD Commons）を開発し、教授歴及び専門の異なる複数の評価者により評価を行った実験結果の発表が行われた。その結果、（1）評価者の専門、教育歴により、授業サマリーに記録されたコメントの内容が異なった（2）授業記録では「基本的な教授スキル」よりも「教えるべき内容」や「学生への対応」など授業の質について判断を要する内容についてのコメントが多く見られた。（3）授業者にとって「教育方法」に関するコメントよりも「教育内容」のほうが

振り返りになる等の点が報告された。

A4) FDの一環としての授業収録・オンデマンド配信の実施と試行的評価

大分大学高等教育開発センター：小沢重知、牧野冷敏、岡田正彦

大分大学経済学部：西村善博

大分大学が2007年度より行っている授業のビデオ等による収録とオンデマンド配信について授業収録が授業改善につながるという効果を確認し、FDの一環として位置づけの再定義を行い、実践している。それを踏まえた授業収録・オンデマンド配信とFDの関係のあり方についての考察が披露された。授業収録ビデオをティーチング（ラーニング）・ポートフォリオのリソースとして利用することを検討されている点については、PF_NOTEの活用方法のアイデアとして同様に検討できると思われる。

A5) ICT活用教育のFD

青山学院大学：松本喜以子、佐藤万知、渡辺雄貴

A6) FD促進のための3分間コンテンツ

青山学院大学：佐藤万知、松本喜以子

A7) ユビキタス技術を用いて教室での授業を演出する試み

徳島大学大学院：光原弘幸、伊勢直史、松井俊憲、矢野米雄

徳島大学：金西計英

A8) 米国の大学におけるラーニング・コミュニティの視察報告

京都光華女子大学：酒井浩二

A/B/C会場の三か所の会場で午前・午後に分かれ、テーマ「ICTを活用したFD/一般」に関する合計31件の発表が行われた。

1件20分という短い発表時間ではあったが多岐にわたる研究内容・取組を知ることができ、有意義な出張であった。

以上